

山口県大島防災センターだより

山口県大島防災センター 〒742-2301 山口県大島郡周防大島町大字久賀5066-5 TEL0820-79-1133
E-mail : bousai@town.suo-oshima.lg.jp

第34号
平成27年7月

大雨により浸水が始まる前に避難

テレビやラジオなどで気象情報を常に確認し、「注意報」・「警報」が発表されるなどの災害の危険性が増したら、早めの避難を心がけましょう。しかし避難が遅れ、浸水が始まっていたり、夜間で見通しが悪い場合は、屋外に出るのをなるべく避けて、倒壊の危険がない建物（自宅・近隣建物）の2階以上へ一時避難し、救援を待ちましょう。

★ 避難準備情報(要配慮者避難)

人的被害の発生する危険性が高まった状況

- ・避難するのに時間がかかる高齢者などの要配慮者やその支援者は避難を始めます。
- ・通常の避難行動ができる人は、家族との連絡、非常持出品の用意など避難の準備を始めます。



★ 避難勧告

人的被害の発生する危険性が明らかに高まった状況

- ・すべての住民は指定された避難場所に避難を始めます。



★ 避難指示

人的被害の発生する危険性が非常に高まった状況、あるいはすでに人的被害が発生した状況

- ・避難中の住民は直ちに避難を完了してください。
- ・まだ避難していない住民は直ちに避難する。万が一避難する余裕がない場合は、命を守る行動を取ってください。

風水害の避難の注意点

- ★ テレビやラジオで発表される気象情報や、注意報・警報などの情報に常に注意しておく。
- ★ 頭にはヘルメット、足元は紐で締められる運動靴をはき、動きやすく安全な服装で避難する。
(長靴は中に水が入ってきた時、足を取られるので危険です。)
- ★ となり近所で声をかけ合い避難する。
- ★ 徒歩で避難し、なるべく車は使わない。

浸水などから避難する時の注意点

★動きやすい安全な服装で避難

ヘルメットなどで頭を保護し、靴はひもで締められる運動靴にする。裸足・長靴は危険です。

(長靴の中に水が入ってきた時、水の流りに足をすくわれ危険)



★足元に注意

道路が冠水すると足元が見えにくくなり、側溝やマンホールに気付きにくくなります。長い棒などを杖代わりにして歩くと危険を回避できます。

★単独行動はしない

避難する時は2人以上です。流されないようにお互いをロープなどでつなぎ、安全を確認しながら迅速に避難する。



★水深に注意

歩行可能な水深目安(流れが殆どない場合)は50センチ、水の流れが速い場合は20センチ程度でも危険です。

危ないと判断した場合は、高い所で救助を待ちましょう。



★避難行動要支援者に配慮をしましょう

高齢者や傷病者はできるだけ背負い、子供には浮き輪などを着けて安全を確保して避難する。

もしもに備え地域との交流を大切にしてください

定期的に防災訓練に参加しましょう。今年の周防大島町防災訓練は東和地区にて、9月6日(日曜日)に開催されます。

そして、地域のサークルやボランティア活動、祭り、運動会などにも積極的に参加し、地域の人達と顔見知りになっておきましょう。

日頃の交流がもしもの時に、命を助け・守ることにつながっていきます。



来館者紹介

5月、6月 見学団体

手話サークル周南ひまわりの会
岩国民生福祉厚生部会
徳山中央婦人会

の方々が来館されました。

